

胃がん検診（胃バリウム検査）

胃がん検診について

市川市の胃がん検診は、胃内視鏡検査と胃バリウム検査の**選択制**です。
胃内視鏡検査と胃バリウム検査を併用して受診することはできません。

【受診券について】

胃内視鏡検査受診券と胃バリウム検査受診券は、市川市の胃がん検診を過去2年間で受診した方に自動で発送いたします。

2年間受診のない方、新規で受診を希望される方は、WEBまたは電話にて受診券の発行依頼をしてください。

※胃内視鏡受診券は申込期限がございます。お早めにお申込みください。



WEB：右記二次元コードまたは<https://logoform.jp/f/AxgHG> より申込

TEL：047-377-4513（平日8:45-17:15）市川市保健センター健康支援課 健診担当

対象者

40歳以上の方

※対象の年齢でも受診できない場合がございます。末尾に記載の「注意事項」をご確認ください。

検査方法

発泡剤で胃を膨らませ、バリウムを飲んでレントゲン撮影を行う検査

受診方法

胃バリウム検査は**集団検診**となります。**個別医療機関では受診できません。**

WEBまたは郵送にて検診日時を予約し、受診してください。

※検診の予約には「受診券④胃バリウム検査受診券 兼 集団検診申込書」が必要です。

※電話での予約はできません。

【集団検診会場】

- ・市川市保健センター（南八幡4-18-8）
- ・南行徳市民センター（南行徳1-21-1）
- ・J:COM北市川スポーツパーク（柏井町4-277-1）

自己負担金

600円

以下のいずれかに該当する方は無料となります。

- ・70歳以上の方
- ・千葉県後期高齢者医療保険加入者
- ・前年度の住民税非課税世帯の方
- ・生活保護を受給中の方

※受診券の受診番号の右側に、有料の方は「A」、無料の方は「B」と印字されています。

受診後の返金はできませんので、ご不明な点がございましたら、事前に

市川市保健センター健康支援課 健診担当（TEL:047-377-4513）までお問合せください。

持ち物

- ・受診券
 - ・着替えを入れる袋
 - ・黒のボールペン
 - ・自己負担金（現金のみ）
 - ・金具のついていない無地の服（Tシャツ、ウエストがゴムひものズボン、スカート）を着用してください。
- ※検査着の貸し出しはできません。

検診結果

受診の約1か月後に送付いたします。

検査の結果、「要精密検査」と判定された方は、必ず精密検査を受診しましょう。

（精密検査は保険診療となります）

注意事項 ※必ずご確認ください！

・以下のいずれかに該当する方は、胃バリウム検査を受診できません。

- ①前年度に市川市の胃内視鏡検査を受診した方
- ②妊娠中の方、またはその可能性がある方
- ③バリウム製剤に対し、過敏症の既往歴のある方
- ④過去2か月以内に内視鏡による大腸ポリープを切除された方
- ⑤過去1年以内に開腹、腹腔鏡手術、内視鏡手術、開胸（乳がん含む）、胸腔鏡手術、心臓カテーテル、頭部の手術や整形外科の手術をされた方
1年経過後も通院中の方で主治医の許可がない方（整形外科を除く）
- ⑥1年以内に狭心症、心筋梗塞、脳血管疾患（脳梗塞等）を発症したことのある方
1年経過後も通院中の方で主治医の許可がない方
- ⑦脳閉塞、腸捻転の既往がある方、炎症性腸疾患（潰瘍性大腸炎、クローン病）の治療中で主治医の許可がない方。または、1年以内に憩室炎と診断され治療を受けたことがある方
- ⑧人工透析、腎臓病、心臓病などで水分制限を受けている方
- ⑨自力で立位を保持することや撮影台の手すりを自分でつかむことが困難な方
- ⑩検診車内で指示どおりに動くことが困難な方、ご自身や周囲の人によるバリウムの排泄の確認が困難な方（安全を確保できないため）
- ⑪ペースメーカー、植込み型除細動器使用の方で主治医の許可がない方
（X線装置による誤作動の可能性があるため）
- ⑫インスリンポンプ、持続グルコース測定器を装着されている方。ただし、主治医の許可があり、検診会場で安全に全ての機器が着脱できる方は受診可能となります。
- ⑬体重120Kg以上の方（装置の重量制限のため）
- ⑭便秘症で検査前72時間（3日間）排便がない方
- ⑮胃腸の病気で治療中・経過観察中の方、または自覚症状がある方（医療機関で診察を受けてください）
- ⑯呼吸不全のある方（片側の肺切除後、COPDなどで常時酸素吸入が必要な場合など）

※上記以外にも、体調等の理由で検査をお断りする可能性があります。

なお、普段から食べ物や飲み物が飲み込みにくい方、むせやすい方、以前にバリウムの誤嚥があった方は、胃バリウム検査は適しません。

* 検査前の注意事項

(1) 前日

- ①夜10時以降、検査終了までは食事をしないでください。ただし、飲水は可能です。
- ②飲酒は避けてください。
- ③服用している薬で検査に不安がある方は、事前にかかりつけ医にご相談ください。

(2) 当日

- ①検査2時間前までは、200ml以内の飲水は可能です。水以外を飲んだ場合は正しい検査ができないため、検査をお断りいたします。
- ②喫煙はさけてください。
- ③糖尿病の方は、受診前に薬の服用やインスリン注射はしないでください。（低血糖になる危険があります）
- ④心臓病、高血圧、抗てんかん薬、向精神薬などの薬を服用されている方は、**検査2時間前までに200ml以内の水で必ず薬を飲んできてください。**
糖尿病でなくても、腎臓病・心不全でSGLT2阻害薬が処方されている方は、受診当日は服薬を中止し、検診終了後、食事を終えた後に服薬してください。SGLT2阻害薬が処方されているか不明な方は、処方薬局または受診されている医療機関にお問合せください。
- ⑤受付～終了までの所要時間は約1時間です。（検査自体は10分程度）
集団検診のため、待ち時間が発生いたします。ご了承ください。

(3) 検査時

- ①レントゲン撮影時は、体を仰向けやうつ伏せ、左右への回転など様々な指示がありますので、それに合わせて体を動かしてください。
なお、ご自身でできない方、指示どおりに動くことが困難な方は検査を受けられません。
- ②撮影時の身支度について
撮影時は以下のものは脱いでください。
 - ・ファスナーやボタンのついたスカート、ズボン
 - ・背中に留め金のある下着、ワイヤーが入っている下着類など
 - ・腰のしっぽ薬、エレキバンははがしていただきます。
 - ・腹巻やガードルなどはおへその下10cmくらいまで下げていただきます。
- ③検査が終わりましたら下剤をお渡しします。**水分をたくさん取り、バリウムをすみやかに体外へ排出させてください。（会場に飲料の準備はございません）**